

校長室だより

☆教育目標☆

自ら考え判断し、進んで行動できる富中生
〈生活心得〉 時を守り 場を清め 礼を正す
令和2年1月7日発行 No.18
富岡市立富岡中学校 校長 中村 喜雄

☆☆夢は人生をつくる・・・☆☆

新年、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

今年も、幸運にも初日の出を拝むことができました。東の空から顔を出した太陽は、新鮮で希望の象徴のように思えました。年が改まると諸事が何とはなしに輝いてみえるのは不思議ですね。

ここ数年、教え子から“夢は人生をつくる”大きな文字でこう書かれた年賀状が届いています。他にも、“希望をもち日々を充実して生きたい”“夢に向かって日々努力・成長”などの文字が入った年賀状があり、とても嬉しく思いました。

新しい年を迎え、皆様のお宅でも、きっと家族揃って今年にかける抱負や希望・夢などを語り合ったことでしょう。「一年の計は元旦にあり」と・・・。

夢や希望をもつことの意義・重要性は言うまでもありません。「私はこう生きたい」と夢を描き、その思いを強くもてば、人はその実現に向けて行動を起こします。目標を立て自分からこうしようと計画したり、実現に繋がることを調べたりします。そして、自分で決めたことですから、意識的に実行に移していきます。小刻みな目標やめあてをつくり、少しずつ努力を始めます。自ら進んで物事に取り組む力を付けていくようにもなります。生活態度や学習態度が積極的になると、夢や希望をしっかりともてるようになってきます。子どもたちの将来は、まさに夢から始まり“夢が人生をつくる”のです。そのために、私たち大人は、子どもたちの抱く夢や希望を肯定的に理解し、大きく育ていけるように支援していくという大切な役割があると思います。

今日から三学期が始まりました。始業式で生徒たちに各自が残り3ヶ月の学年のまとめをしっかりと行い、4月には成長した自分（自立）になれるよう、一歩先の自分を見据え、日々努力・成長することの大切さを話しました。生徒たちには、まずは元気で自分の目指すところ（夢・目標）に向けて何事にもやる気をもって果敢に挑戦してほしいと思います。人間が生きていくには、乗り越えなくてはならない壁がたくさんあります。楽しいこと、好きなこと、得意なことばかりではなく、苦しいこと、嫌なこと、苦手なことに遭遇することが多いでしょう。だからといって、自分の決めた夢を諦めたり、将来のビジョンを失ったりするのは感心しません。動物が本能的に今を生きると言われるのに対して、人間の特徴は、夢や希望・目的意識をもって生きられることです。以前お配りしました校長室だよりも書かせてもらいましたが、“人みなに美しき種子あり”という至言があります。その美しき種子（よさ・可能性）は、夢を育むことで開花するのです。生徒たちには“夢は人生をつくる”ということをお忘れしてほしいです。



